



# 水口かずえと まちづくり市民こだいらニュース

# No.8



小平市議会議員  
水口かずえ

小平市議会における水口かずえの一般質問とそれに対する回答の全文をホームページに掲載しています。ぜひお読みください。

水口かずえとまちづくり市民こだいらのホームページから、水口かずえメールマガジンの申込ができます。



## 議会傍聴記

12月2日(木)、水口かずえ議員の一般質問傍聴へ行きました。1点目の再質問では、投票所に必要な庁内ネットワークの補正予算について水口さんがあらかじめ調べて準備されていたことに驚きました。市の答弁では投票所の設置が難しい理由として庁内ネットワークをあげていたため、その矛盾を指摘したのはさすがだなと思いました。

その反面、今回の一般質問は質問量が多く、再質問の時間が足りなかったように感じました。個人的に3点目のプラスチック削減についてが一番気になっていたのですが、再質問時間が10分以下と短く、もう少し水口さんに踏み込んだことを聞いて欲しかったのでその点が少し残念でした。次回の一般質問も楽しみにしています。

学園西町 KM

## 「水口かずえと話す会」

まちづくり市民こだいら事務所と、オンラインで開催します。

日時: 3月19日(土) 14:00~15:30

定員: 会場 5名(まちづくり市民こだいら事務所)、オンラインは定員なし

参加ご希望の方は、メールまたはお電話で、まちづくり市民こだいら (machidukurikodaira@gmail.com / ☎042-313-5108) までご連絡ください。



新しい年になりました。今年は議員活動も4年目に入ります。これまで11回の一般質問では、緑地の保全、まちづくりと市民参加、公民館の有料化、女性、子ども、外国人の人権、生活困窮者の支援、などの課題を取り上げてきました。市民から寄せられるご意見などが活動の基盤ですが、まだまだ取り上げるべき問題はたくさんあります。

議会活動の合間には、玉川上水の自然観察や憲法の学習会、子ども食堂のお手伝いなどに参加して、いろいろ学びながら課題を見つけています。元旦には「年越し支援・コロナ被害相談村」に参加しました。コロナの影響で困窮している方々の声を直接お聞きし、誰もが安心して暖かく暮らせる社会に向けて、議員だからこそできることに取り組んでいく決意を新たにしました。



## かずえ's VOICE

昨年開催された市民学習奨励学級「市民主体のまちづくりの可能性」(企画・運営: わたしたちのまちのつくり方)は、ちょうど鷹の台駅前広場の見直しを求める請願の審査の時期と重なり、まちづくりのあり方に多くの示唆を与えてくれました。

鷹の台駅前広場整備事業の見直しを求める請願は、市によるロータリー整備の代替案として、既存道路の幅を広げて停車スペースを確保し、今ある緑地を残す案を提示、事業の再検討を求めました。駅前広場に求められる「交通結節点」と「都市の広場」の2つの機能を実現するにはどの案が望ましいのか十分に議論することを求めた請願ですが、賛成少数で否決されました。

奨励学級では、まちづくりに市民が参加する意義や手法などを学びました。情報量と参画は比例すること、集団で創造するワークショップの重要性、異なる意見をもつ他者を尊重し、議論において対立する意

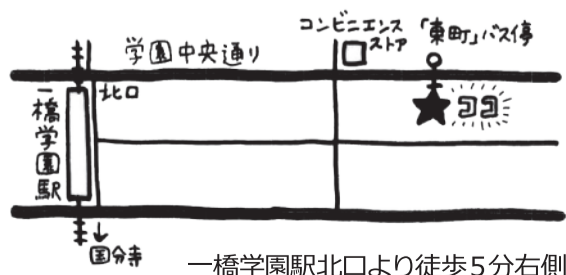
見を真剣に吟味する「熟議」の必要性、などです。

ドイツで開発された市民参加による課題解決の手法(PZ)は、解決が必要な課題に対し、無作為抽出で選ばれた住民約100名が、5名くらいの小グループに分かれて、メンバーを組み換えながら4日間ほど議論を重ね、最終的に「市民鑑定」報告書を首長に提出し、首長はそれに応答する責任をもつというものです。対立する意見をたくさん集め、意見を出し尽くし、多様な選択肢を考えるのが、合意形成のポイントだという講師の話聞いていて、鷹の台の請願に活かせていたらと強く思いました。



## 事務所オープンしています!

平日午前10時から午後5時まで、事務所をオープンしています。気になることやご相談など、お気軽にいらしてください。市役所への同行支援もします。お電話やメールでもご相談ください。



## [水口かずえとまちづくり市民こだいら ニュース No.8]

発行・連絡先

## まちづくり市民こだいら

〒187-0043

小平市学園東町2-4-11 ハウス井上101

(月~金 10:00-17:00)

電話: 042-313-5108

メール: machidukurikodaira@gmail.com

※ このニュースのご感想やご意見、気になることなど、お聞かせください。